

I. 平成 21 年度 財団法人佐世保地域文化事業財団 事業報告書

1. まえがき

この報告書は、平成 21 年度（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の事業実績である。

2. 概 況

21 年度の「アルカス S A S E B O」の管理運營業務の代行を佐世保市から指定されるとともに、当年度の事業計画に基づき、地域文化の振興と育成、地域文化活動の活性化を目指し、設立の趣旨に沿った各種事業（自主・共催事業、施設提供事業、市民活動支援事業、友の会事業）を実施した。

3. 庶務報告

(1) 監査の実施

平成 21 年 5 月 22 日、平成 20 年度決算監査を実施した。

(2) 会 議

① 第 41 回理事会 平成 21 年 5 月 29 日

- ・新役員の役職について
- ・平成 20 年度事業報告並びに収支決算報告について
- ・平成 21 年度補正予算について
- ・評議員の改選について
- ・公益法人制度改革に伴う最初の評議員の選任方法について

② 第 45 回評議員会 平成 21 年 5 月 29 日

- ・平成 20 年度事業報告並びに収支決算報告について
- ・平成 21 年度補正予算について
- ・理事の改選について
- ・公益法人制度改革に伴う最初の評議員の選任方法について

- ③ 第 42 回理事会 平成 21 年 8 月 28 日
 - ・最初の評議員の選任方法に基づく
評議員選定委員会の委員の選任について
 - ・最初の評議員選定委員会の設置規則について
 - ・最初の評議員の候補者の推薦について
 - ・最初の代表理事及び業務執行理事の
就任予定者の選定方法について
 - ・定款変更の案（初案）について
 - ・評議員の一部改選について

- ④ 第 46 回評議員会 平成 21 年 8 月 28 日
 - ・最初の評議員の選任方法に基づく
評議員選定委員会の委員の選任について
 - ・最初の評議員選定委員会の設置規則について
 - ・最初の評議員の候補者の推薦について
 - ・最初の代表理事及び業務執行理事の
就任予定者の選定方法について
 - ・定款変更の案（初案）について
 - ・理事の一部改選について

- ⑤ 第 43 回理事会 平成 21 年 10 月 30 日
 - ・平成 22 年度事業概要等について

- ⑥ 第 47 回評議員会 平成 21 年 10 月 30 日
 - ・平成 22 年度事業概要等について

- ⑦ 第 44 回理事会 平成 22 年 2 月 4 日
 - ・平成 22 年度一般会計予算（案）及び事業特別会計・
友の会特別会計予算（案）について
 - ・定款変更の案（第 2 案）について
 - ・諸規程（案）について

- ⑧ 第 48 回評議員会 平成 22 年 2 月 4 日
 - ・平成 22 年度一般会計予算（案）及び事業特別会計・
友の会特別会計予算（案）について
 - ・定款変更の案（第 2 案）について
 - ・諸規程（案）について

- ⑨ 第 45 回理事会 平成 22 年 3 月 29 日
 - ・平成 22 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について
 - ・公益財団法人移行後の最初の代表理事及び業務執行理事の選任方法について
 - ・公益財団法人移行後の最初の代表理事及び業務執行理事の選任（案）について
 - ・定款の変更の案（最終案）について
 - ・諸規程変更（案）について
 - ・公益法人移行認定申請書（案）一式について

⑩ 第 49 回評議員会 平成 22 年 3 月 29 日

- 平成 22 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について
- 公益財団法人移行後の最初の理事及び監事の選任について
- 公益財団法人移行後の最初の代表理事及び業務執行理事の選任方法について
- 定款の変更の案（最終案）について
- 諸規程変更（案）について
- 公益法人移行認定申請書（案）一式について

4. 事業報告

開館9年目の平成21年度は、指定管理者としてアルカス SASEBO の管理運営を行う4年目にあたり、佐世保市及び県北地域の文化創造と地域活性化の拠点として、より一層地域に根ざした親しまれる文化ホールとして効率的な運営を目指し、施設全体にわたり幅広く約47.2万人の方々に利用された。

また、財団の自主・共催事業は、優れた音楽や舞台芸術鑑賞の機会を提供する“鑑賞事業”と市民が自ら文化創造に積極的に関わりを持つ“市民参加型事業”を併せて67本実施した。

(1) 寄附行為第4条(1)文化事業の企画及び実施に関する事業

「財団自主・共催事業」(67本)

“鑑賞事業(30本)”

自主事業で19本、テレビ局や音楽事務所、地元文化団体などとの共催事業11本、合計30本を実施。会員や、公演ごとのアンケートなど様々な要望に応えるべくホールの特性を生かした魅力的で芸術性の高いオーケストラ、オペラ、室内楽、ポップス、落語など、多ジャンルの公演を実施した。

大ホールでは、7年ぶりの「ウィーン少年合唱団(4月24日)」、平成14年のニューイヤーコンサート以来となる「原信夫とシャープス&フラッツ(5月2日)」は特別ゲストに綾戸智恵を迎えて実施。オーケストラ公演は、宮川彬良と新日本フィルの組み合わせでクラシックからポップスまでオーケストラサウンドをファミリーで楽しんでもらうことを目的に「コンチェルタンテ II(7月26日)」を実施したほか、ニューイヤーコンサートとして「プラハ交響楽団(1月16日)」を実施。そして開館以来初の本格オペラ公演として実施した、プラハ国立歌劇場「アイダ(11月5日)」はチェコ最高水準のオペラ公演として、管弦楽団、合唱団、バレエ団一行210名が来日しての大型公演となり、チケットは完売。大盛況となった。

中ホールでは、恒例の“中ホールセレクション”として「セルゲイ・ナカリャコフトランペットリサイタル(5月19日)」、「アンドレ・ワッツピアノリサイタル(9月27日)」、「ヴェルターヴォ・カルテット(10月18日)」を実施。トランペット、ピアノ、弦楽器の魅力と醍醐味を来場者に楽しんでもらった。

また、複数の会場を横断的に用いた「SASEBO JAZZ WEEK in X'mas」を文化庁・長崎県地域文化芸術振興プラン実行委員会との共催事業として実施。「上原ひろみ日本ツアー 佐世保公演(12月13日)」を中ホールで、イベントホールでは「平野公崇トリオ・ジャズコンサート(12月19日)」を開催。さらに、きらきらフェスティバルと連動した「松尾明トリオ LIVE(12月20日)」を島瀬公園で開催し、期間中3,835人の来場者で賑わった。

“市民参加型事業（37本）”

地元演奏家の演奏を市民に身近に楽しんでいただく恒例の「ロビーコンサート」は、クリスマスのツリー点灯式を含め6回実施。1,200人の観覧者があった。「ロビーコンサート」メンバーと、普段ホールに足を運ぶ機会がない方々へ音楽を出前する「ファミリーコンサート」は、in 黒島として黒島天主堂で実施。島内外より200人の観覧があった。

育成事業としては、「ヴァイオリンセミナー」「ジュニアヴァイオリンセミナー」「オペラセミナー」を開催。開館10周年以降も視野に入れた、中長期的展開で実施した。

また、開館10周年記念事業のファイナルを飾る創造事業「市民ミュージカル」も原案募集、脚本家、演出家決定に着手。2月に行った出演者募集には、120人以上の応募があり、108人の参加が決定。平成23年3月12日・13日の公演に向けたプロジェクトがスタートした。

(2) 寄附行為第4条(2) 長崎県及び佐世保市が設置する文化施設の管理運営に関する事業

- ①施設の維持管理及び管理運營業務
- ②施設利用申請の受付事務
- ③施設利用料金の収受事務

区分	可能 日数	稼働 日数	稼働率	入場者数 (人)	施設・附属使用 料金(円)
大ホール	287	160	55.7	154,492	36,048,810
中ホール	307	151	49.2	36,162	9,786,750
イベントホール	300	229	76.3	53,082	13,415,350
会議室	336	317	94.3	73,843	16,771,300
特別会議室・控室	334	102	30.5	1,895	1,954,900
和室・茶室	326	140	42.9	6,455	2,972,650
練習室	335	280	83.6	13,380	4,502,700
リハーサル室	335	260	77.6	26,356	9,366,000
交流スクエア	336	294	87.5	70,312	230,350
アルカス広場 ステッププラザ				36,009	
キャンセル料					208,620
計				471,986	95,257,430

(3) 寄附行為第4条 (3)その他前条の目的を達成するために必要な事業

①施設提供事業

「コンベンション等の誘致活動」

地域活性化に寄与するコンベンション等の誘致及び支援を展開し、平成22年3月末の開館9年間で96件・約19万7千人の大会参加者を迎え入れることができた。

コンベンション開催の際は、式典・講演会を2,000人収容の大ホールで実施し、分科会を中ホール・会議室等で行い、懇親会・展示会などはイベントホールを平土間(フラット)にして行うなどアルカスSASEBOの施設特性を最大限活かした利用方法を提案し、好評を得ている。

〔平成21年度 コンベンション実績〕

大会名	開催日	使用施設	参加延人数
第36回佐世保-島原城105ウォークラリー	5月3日	大ホール・アルカス広場・その他	1,000 人
第11回九州ブロック介護老人保健施設大会	5月21・22日	全館	2,200 人
第53回長崎県高等学校連合会音楽会	5月30・31日	大ホール・その他	3,000 人
第57回全国公立高等学校事務職員協会九州協議会研究大会	6月25・26日	大・中ホール	900 人
第35回JaSECT九州地方大会	6月27・28日	イベントホール・会議室	210 人
第45回献血運動推進全国大会	7月16日	全館	1,950 人
第54回九州吹奏楽コンクール予選長崎県大会	7月25日	大・イベントホール	2,400 人
第44回九州医学検査学会	10月10・11日	全館	3,000 人
平成21年度長崎県高等学校総合文化祭	10月30・31日	全館	2,600 人
平成21年度長崎県学校保健学校安全研究協議大会	11月5日	中ホール・会議室	450 人
第14回全国朝市サミット2009 IN 佐世保	11月6日	中・イベントホール・会議室	400 人
第44回長崎県老人クラブ大会	11月12日	大ホール・会議室	1,300 人
第47回長崎県PTA研究大会佐世保大会	11月21・22日	全館	2,800 人
伝統芸能 美の祭典	11月29日	大・イベントホール・その他	4,300 人
長崎県耳鼻咽喉科地方部会	12月13日	会議室	85 人
日韓連合宣教大会	3月8日	大ホール	750 人
		計16件	27,345 人

〔平成22年度 コンベンション予定〕

大会名	開催日	使用施設	参加 延人数
世界俳句フェスティバル2010・イン・ナガサキ	4月9～11日	中・イベントホール・その他	900人
長崎県立佐世保高等女学校 創立100周年記念大会	4月20日	大ホール・その他	600人
第37回佐世保-島原城105ウォークラリー	5月2日	イベントホール・アルカス広場 その他	900人
平成22年度第47回長崎県校長会研究大会 佐世保大会	5月12・13日	全館	1,200人
ライオンズクラブ国際協会337複合地区 第56回年次大会	5月23日	全館	1,500人
第46回日本下水道協会九州地方支部総会	5月25日	イベントホール・会議室	250人
長崎県珠算競技大会	6月20日	会議室	240人
第33回全日本おかあさんコーラス 九州支部大会	6月26・27日	全館	3,500人
第55回九州吹奏楽コンクール予選 長崎県吹奏楽コンクール	7月25～27日 8月1日	大・イベントホール・会議室 リハーサル室・その他	6,000人
九州連合戸籍住民基本台帳協議会総会	7月29・30日	中ホール	500人
第41回(平成22年度)日本看護学会	8月19・20日	全館	3,400人
第59回全九州ろうあ者大会 第38回全九州手話通訳者研修会	9月4・5日	全館	1,550人
日本歯科技工士学会九州大会	9月12日	中ホール・会議室	220人
生長の家講習会	10月3日	全館	2,500人
第42回たばこ販売業者九州大会	10月22日	大・イベントホール	1,000人
第63回九州精神神経学会 第56回九州精神保健学会	10月28・29日	全館	1,200人
第11回茶の湯文化にふれる市民茶会	10月31日	会議室	1,200人
平成22年度船舶海洋工学会 西部支部秋季講演会	11月4・5日	会議室	120人
第34回県民五流謡曲大会	11月14日	中ホール・会議室	200人
長崎県保育研究大会	11月20・21日	中・イベントホール・その他	500人
第11回ながさき人権フェスティバル	12月4日	中・イベントホール・その他	1,000人
長崎県障害者芸術祭	12月11日	大ホール	2,000人
第11回日本医療マネジメント学会 長崎支部学術集会	2月26日	中ホール・会議室	400人
計23件			30,880人

②市民活動支援事業（ホールボランティア）について

平成 13 年の開館以来、アルカス SASEBO の自主・共催事業を、チケットもぎり、プログラム配布、客席案内などの表方、また、カゲアナウンスなどの裏方として市民の方々に支援していただくホールボランティアは、今年度も継続して活動に取り組んでいただいた。

また、接客技術の向上を目的とした研修や、他施設のボランティアとの交流会（平成 21 年度は“パトリア日田（※大分県日田市）”との交流会を実施）、ホール内での消防訓練・救急救命訓練などにも積極的に取り組んでいただき、佐世保市及び県北地域の文化芸術に対する意識向上に寄与していただくと共に、財団の事業運営に多大な尽力をいただいている。

平成 22 年 3 月末日現在のホールボランティアの参加状況は以下の通り

- ・登録人数 74 人
- ・延べ参加人数 1,038 人
 - 内 自主・共催事業（公演事業）への延べ参加人数 35 事業 544 人
 - 内 研修・交流会・諸訓練などへの延べ参加人数 18 回 494 人

その他の活動として、アルカス SASEBO の自主・共催事業を広く PR する“広報ボランティア”活動、ボランティア間の情報共有を目的とする“ボランティア通信”の発行、ボランティア相互のコミュニケーションの場として“アミーチ（※イタリア語で「友だち」）の会”の自主的な開催などを行っている。

③友の会事業について

広く市民にアルカス SASEBO を支援・活用していただくために、友の会事業（アルカスクラブ）を、2つの種類（オレンジ・ホワイト）に分け、金額に応じて様々な特典を設けてスタートさせた。開館 5 周年を迎えた平成 17 年度、オレンジ会員への入会を促進するため、新たにゴールド会員を新設。オレンジ会員の方々が更新した場合、自動的にゴールド会員とすることによってより多くの会員の継続を図った。会員数は、平成 22 年 3 月末日現在、ゴールド会員 1,366 人、オレンジ会員 618 人、ホワイト会員 961 人、法人会員 44 人の計 2,989 人である。

会員に対しては定期的なアンケートを実施しており、事業の希望ジャンルやご意見を年間の自主・共催事業企画やホール運営改善に反映させている。また、会員へのサービスとして美術館バスツアーを平成 17 年から 6 回実施しており、毎回多くのお客様から好評をいただいている（平成 21 年度は九州国立博物館「阿修羅展」と博多、太宰府ツアーを開催）。その他、会員へのサービスとして、ゴールド・オレンジ・法人会員へは、より早く新着情報をお届けし、販売促進へ繋げる為に、アルカス NEWS を、発行日より早く公演チラシと一緒に、公演担当者からのお勧めコメントと合わせて郵送している。

また、平成 21 年度よりアルカスクラブ会員を対象とした「文化茶話」をスタートさせた。各分野から講師を招き、文化について様々な切り口から講座を開催。様々な文化に関心を深めてもらう機会として好評をいただいた。

その他、会員カードの提示でサービスが受けられる協力店は、現在飲食店から宿泊施設など 70 施設の登録があり、協力店を活用した広報の推進にも力を入れている。